

X サミット後半「X サミットの意義について」の議事録です

▶X サミットのほかにも GLHS 校間で何かできることはないか

- ・化学甲子園のようなもの、クイズ大会のようなもの
- ・GLHS で問題集を作ってみる
- ・10 校の部活で何か
- ・共同ボランティア
- ・それに意義はあるか？
- ・生徒全員が関わるのか、一部のみがいいか？
- ・集まるのは大変では

▶X サミットが自慢大会になっていないか

- ・各校が自校の良いところを述べるのは参考にしていく上で良いことだ
- ・それを自慢と捉えるかどうかは個人の問題ではないか

▶毎回毎回、各校の自治会/執行部の仕組みから説明している。数回参加している人にとっては知っている内容だし、せっかくの時間が無駄になっているのではないか

- ・プリントで事前に各校の仕組みをまとめたものを作り読んでおけば済む。
- ・これに関して「関西生徒会連盟」では、活動記録を文書で提出しているのでその時間を省けている。そこではその記録に至るまでのもっと詳しい経緯が知りたいと思った。
- ・各校に対する細かい疑問は個人で聞くべきだ
- ・個人的に話せる時間も欲しい

▶議題が被ってきているのではないか。前回は議論したことを繰り返すのは時間の無駄ではないか。

- ・しっかりとした議事録を残すべき
- ・進行の仕方も定まっていない
- ・議事録の内容を各校の自治会/執行部で引き継いでいく
- ・日々変化していく問題もあり、回を重ねて議論すべき問題もあるのではないか

▶事前にもっと議題を詰めておく必要があるのではないか

- ・議題を知るのが当日というのは困る

- ・曖昧な議題になってしまっている
- ・議題を提出するときにもっとディテールを細かく書けるようなフォーマットを用意して細かい内容まで書き込めるようにすべき
- ・事前に話し合いをしておくべき
- ・会長で事前に議題を決めて深めておく
- ・議題を当日知るので議論が薄くなる。事前に各校で議題について話し合いをしておくべき
- ・議題に対する返答を各校から事前に集め、それを見て議論をするのはどうか
- ・直接会って議論をすることには意味がある
- ・問題解決の経験を提示する場として有意義
- ・マンネリ化を防ぐためにも、サミット後議題に関して何ができたかを報告すべき。もう一度意見を聞くためにも有意ではないか
- ・一つの学校の中でも個人によって意見が異なっていることがあり、「学校として」ではなく「個人」で参加している状態になっていないか

▶X サミットに教員を近づけるべきか

- ・現状、拒んではいないがそこまで勧めているわけではない
- ・先生がいれば生徒だけでは答えられないことも対応できるようになるのではないか
- ・実際に来てもらって他校生の生の意見を聞いてもらいたい
- ・参加させるときは議論に参加させるべきかどうか
- ・議論の結果だけを聞いてもらうだけでいい
- ・結果を聞いてもらうだけなら議事録で十分ではないか
- ・先生の自主性に任せるべき
- ・どうしても聞かせたい議題があるなら連れてくればいい
- ・ただ遠ざけるべきではない

□まとめ

- ・今後のサミットで参考にするため、次の自治会/執行部員のために議事録はしっかりとしたものを用意すべきである
- ・事前準備をもっとしっかりとすべきである。
- ・議題を提出する際に書き込む内容を細かくする（自校の現状について、どういった内容を聞きたいのかについて、他校が具体的な返答を事前に用意できるように細かく）。
- ・議題について纏めたものを事前に各校に配布し、一度それについて自分たちの中で議論をしてからサミットに臨むようにする。
- ・会長たちで事前に話し合いをしておくのもあり。
- ・各校の自治会/執行部の仕組みを纏めたプリントも事前配布しておく。

- ・サミット後、提出した議題に関してどんなことをしたかを報告すべきである。
- ・教員の参加に関しては現状のままでよい。